

平成30年1月25日

都内私立中学高等学校

校 長

国際理解教育担当教諭

英語科教諭 殿

社会科教諭

関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎

東京私学教育研究所長 須藤 勉

国際理解教育研究会委員長 金谷 三枝子

(共催：公益財団法人東京都私学財団)

国際理解教育研究会「研修会（ワークショップ）」のご案内

『フードバンクの挑戦』 — ボランティアをする前に —

新春の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究会では、セカンドハーベスト・ジャパン(2HJ)事務所を訪れて、CEOのマクジルトン氏から活動の理念などについてお話を頂き、そこで得たものを参加者の間でシェアできるワークショップを企画いたしました。事務所やパントリーなど活動の現場も見学することができます。

2HJは日本でのフードセーフティネットの構築を目的とし、食品ロスをなくし児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設や生活困窮者に対して食糧支援を行っているNPOです。

先生方に大変参考になる研修会となることと存じますので、お問い合わせのうえ是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成30年3月10日(土) 15:00 ~ 17:00

(集合時間 14:45) ※現地集合、現地解散になります。

緊急連絡 TEL090-4432-2886 ←当日 12:00 以降は研究所携帯をお願いします。

2. 会 場 セカンドハーベスト・ジャパン事務所 ※裏面案内図をご参照ください。

台東区浅草橋4-5-1 水田ビル1F

3. 講 師 セカンドハーベスト・ジャパンCEO マクジルトン・チャールズ 氏

【プロフィール】

2000年から日本初のフードバンクの代表者として、生活困窮者、幼児施設、福祉施設、移住労働者やDV被害者等に、食品を提供する活動を始める。2002年にセカンドハーベスト・ジャパンを設立。2008年4月から2015年9月まで、上智大学にて非常勤講師としてNGOマネジメントを教える。2010年にSecond Harvest Asia を設立。2012年にSalu Salo: Food Bank Philippinesを設立。2013年に公益財団法人セカンドハーベスト・ジャパンアライнсを設立。

4. 内 容 セカンドハーベスト・ジャパンの現場にて、マクジルトン氏から活動や社会の在り方についてお話いただき、ワークショップを行います。

5. 定 員 20名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
6. 参 加 費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と (公財) 東京都私学財団からの補助金で運営しております)
7. 申込方法 3月2日 (金) までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申込みください。

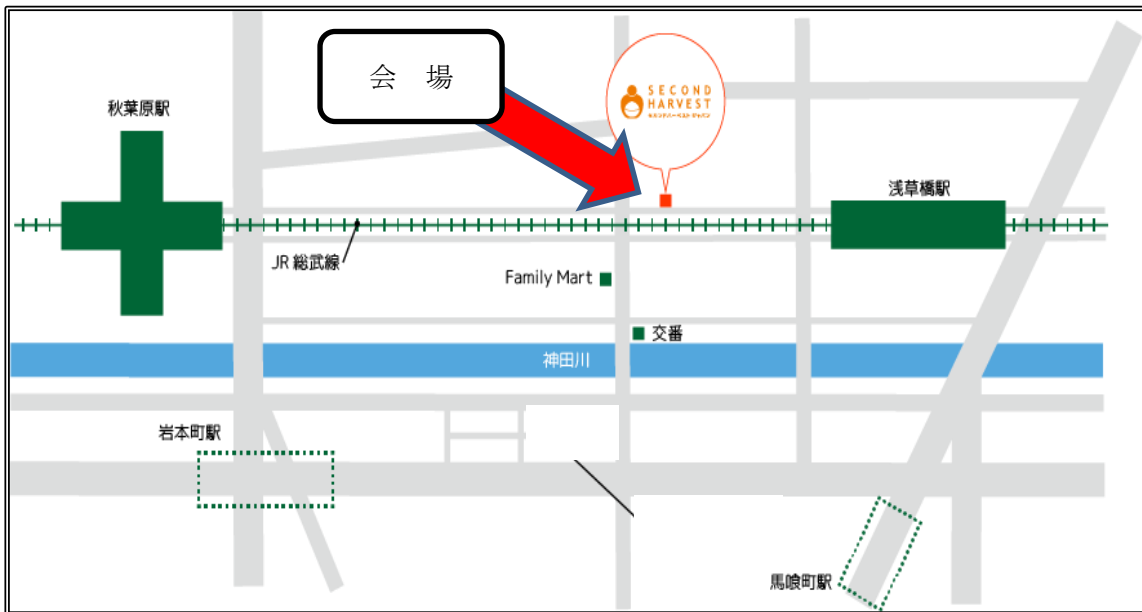
URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所

検 索

東京私学教育研究所 国際理解教育研究会 担当：岡沢・船江
 TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



※ JR・地下鉄「秋葉原」、「浅草橋」駅より徒歩約7～8分 (HPでもご確認ください)

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

国際理解教育研究会「研修会(ワークショップ)」参加申込書【 3月10日(土)実施 】

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	担当教科

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成30年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------